

院内クリニカルパス  
1-2

# アウトカム・バリエーションの考え方

勝尾信一  
福井総合病院 副院長

## Point

- 1 アウトカムとは、「達成目標」と呼ばれ、患者さんにとって望ましい目標状態のことです。
- 2 バリエーションは、「アウトカムが達成されなかったとき」と定義され、バリエーション分析が質改善の鍵となります。
- 3 最終アウトカムと関連性のある中間アウトカムのことを、「クリティカルインディケーター」といいます。
- 4 クリニカルパスは、標準を定めることによって個別性を際立たせるためのツールです。

## はじめに

病院では、レジメン・プロトコル・プログラム・マニュアルなどが使われていますが、違いを理解しているでしょうか。また、クリニカルパス（以下パス）との違いを理解しているでしょうか。

レジメン・プロトコル・プログラム・マニュアルの本来の意味（表1）と、パスとの1番の違いは、患者さんの目標状態が入っていないことです。パスは、患者さんの目標状態を「アウトカム」と定義し、そ

れを達成させるために最適な診療計画を立てていきます。その手法として、標準化が用いられます。そして、アウトカムが達成されなかったときに「バリエーションが発生した」といわれます。レジメン・プロトコル・

プログラム・マニュアルには出てこなかった言葉です。しかし、バリエーションを上手に扱うことで、医療の質が向上します。

本章では、アウトカムとバリエーションの基本的な部分を解説します。

## アウトカム

パスにおけるアウトカムが達成目標を意味するといわれても、あまりに漠然としていて、具体的にイメージできません。また、最近ではアウトカム志向のパスであったり、クリティカルインディケーターが重要であったり、といわれています。ここでは、アウトカムについてわかりやすく説明します。

### アウトカムの考え方

#### 何をアウトカムと捉えるか

「達成目標」をもう少しわかりやすい言葉で表現すると、「患者さんにとって望ましい目標状態」となり

表1 パスと混同されがちな言葉

レジメン	がん治療で、投与する薬剤の種類や量、期間、手順などを時系列で示した計画書
プロトコル(プロトコル)	複数の者が対象となる事項を確実に実行するための手順などについて定めたもの
プログラム	ある物事の進行状態についての計画や予定あるいは予定表
マニュアル	作業の手順などを体系的にまとめた冊子の類

ます。入院治療を受ける患者さんにとって望ましい目標状態とは、退院基準を満たして予定の期間で退院することです。退院基準が「最終アウトカム」となります。そして、最終アウトカムに至るまでの回復途中の目標状態が「中間アウトカム」となります。中間アウトカムを毎日設定することも可能ですし、バイタルサインに至るまでのすべての患者状態をアウトカムと捉えることもできます。どの段階をもって自分たちの病院のアウトカムと定義するかは、それぞれの病院で検討しなければなりません。その際に参考となる

フローチャートを図1に示します。すでにパスを使用している病院も、自分の病院のアウトカムの定義が何なのか確認してみましょう。ちなみに、全国の多くの病院でよくいわれているアウトカムは、毎日設定されている目標状態を指します。

#### 4つのアウトカム

毎日アウトカムを設定しようとすると、なかなか思い浮かばないことがあります。また、重要なアウトカムが抜けてしまっても困ります。そのようなときに便利なのが、4つの視点（表2）で考えることです。

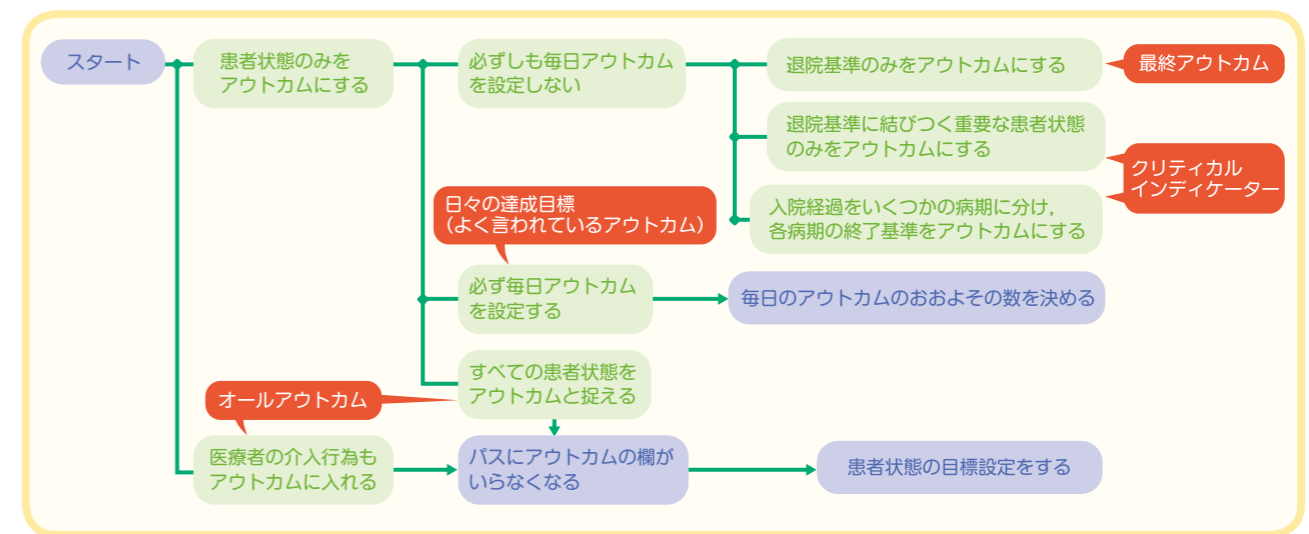


図1 アウトカムの考え方